

2021年度
サンケイグループ
環境サイトレポート

株式会社 サンケイ



SANKEI

三恵工業(株)・(株)サンケイ・(株)ギャルドサンケイ
環境保全活動委員会 2021年09月発行

サンケイグループの概要



サンケイグループの生産拠点



サンケイ製品の販売会社

- 会社名 : 三恵工業株式会社
- 創立 : 昭和26年(1951年)8月15日
- 資本金 : 5000万円
- 売上高 : 15.3億円(2021年6月期)
- 従業員 : 97人
- 所在地 : 三重県鈴鹿市上野町字助町48番地
TEL:059-378-1243(代)
FAX:059-378-3718
URL: <http://www.isu-sankei.co.jp>
- ISO9001認証取得:1999年8月
- ISO14001認証取得:2000年7月
- 新JISマーク表示認証取得:2007年6月

- 会社名 : 株式会社サンケイ
- 設立 : 昭和47年(1972年)6月
- 資本金 : 4500万円
- 所在地 : 三重県鈴鹿市上野町字助町48番地
TEL:059-378-0465(代)
FAX:059-378-3719
- 従業員 : 18人

- 会社名 : 株式会社ギャルドサンケイ
- 設立 : 平成3年(1991年)9月
- 資本金 : 1000万円
- 所在地 : 三重県鈴鹿市上野町字助町48番地
TEL:059-378-1298(代)
FAX:059-378-3612



製品紹介

折りたたみチェア

いつでも、どこでも手軽に使用することができる
簡便さが魅力の折りたたみチェアを豊富に
ラインナップしています。



ループスタッキングチェア



多目的チェア

オフィスにおける打合せ・会議や、各種施設での
レセプションなどでは、その目的や規模に応じた
最適な会場設営が可能です。



デスク



経営方針および環境方針

経営方針

私たちはお客様に満足される商品を、積極的に創ることにより、社員の生活向上と、社会への貢献をめざします。

品質／環境宣言

私たちサンケイグループは、商品の開発、設計、製造、販売、廃棄の活動が、地球環境と深く関連し影響を与えていることを明確にとらえ、地球環境保全への貢献に徹し、お客様に満足して頂ける商品を継続的に提供ができるように、全社員の技術力の向上と健全なる成長を目指します。

品質／環境方針

私たちは、特に次の項目について優先的に活動し、品質向上、環境保全及び汚染予防に取組み、社会へ貢献します。

1. 品質／環境関連の順守義務及び適用される要求事項を遵守し、社会的責任を遂行します。
2. 品質／環境の両面を追求し、ライフサイクルアセスメントを用いた製品の開発、設計、製造、販売を推進し、品質の向上及び環境負荷の低減と汚染の予防に努めます。
3. 持続的発展を可能とする社会の実現を目指し、「MY DEAR GLOBE」の理念のもと、行動指針RE5を実行し、環境を保護します。
4. 品質／環境方針に基づき、品質目標、環境目標を設定し、目標達成のためにフレーム化し、PDCAサイクルを効率的に回すことで、品質／環境パフォーマンスを向上させ、継続的に改善します。
5. 品質／環境方針が、当社の目的、事業活動及び状況に対して、適切性を持続するため、年1回見直しをします。

SDGsへの取り組み

弊社は事業活動を通してSDGsの達成に協力しています。



SDGs
(Sustainable Development Goals)
持続可能な開発目標

2015年9月の国連総会で採択された
2030年に向けた具体的行動指針

弊社の関連項目

2. 飢餓をゼロに

3. すべての人に健康と福祉を

4. 質の高い教育をみんなに

6. 安全な水とトイレを世界中に

7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに

9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

11. 住み続けられるまちづくりを

12. つくる責任 つかう責任

13. 気候変動に具体的な対策を

15. 緑の豊かさを守ろう

17. パートナリーシップで目標を達成しよう



環境目的・目標

環境目的項目（過去3年間実績平均値）		2021年度(第71期) 達成目標	2022年度(第72期) 達成目標	2023年度(第73期) 達成目標
1)廃棄物の減量化				
廃粉体塗料	廃棄量(4,115kg) 原単位 7.4 g/脚	-5% (7.0g/脚)	-5% (7.0g/脚)	-5% (7.0g/脚)
一般廃棄物	廃棄量(17,733kg) 原単位 32.3 g/脚	-5% (30.7g/脚)	-5% (30.7g/脚)	-5% (30.7g/脚)
産業廃棄物	廃棄量(51,103kg) 原単位 92.3 g/脚	-5% (87.7g/脚)	-5% (87.7g/脚)	-5% (87.7g/脚)
2)再生資源化率の向上				
上記廃棄物のサーマル及びマテリアルリサイクルを推進する。	リサイクル率: 100.0%	100%維持	100%維持	100%維持
3)資源の有効利用				
金属屑(鉄+アルミ)の低減	排出量(18,670kg) 原単位 34.1g/脚	-2% (33.5g/脚)	-2% (33.5g/脚)	-2% (33.5g/脚)



環境目的・目標

環境目的項目（過去3年間実績平均値）		2021年度(第71期) 達成目標	2022年度(第72期) 達成目標	2023年度(第73期) 達成目標
4)CO2排出量の見える化				
省エネルギー化による CO2排出量の低減	三惠工業(株)排出量 644.0 t	-2% (631tCO2)	-2% (631tCO2)	-2% (631tCO2)
	(株)サンケイ排出量 12.9 t	-2% (12.6tCO2)	-2% (12.6tCO2)	-2% (12.6tCO2)
省エネルギー化による 電力使用量の低減	三惠工業(株)使用量 原単位 1.4349kWh/脚	-5% (1.3186kWh)	-5% (1.3186kWh)	-5% (1.3186kWh)
5)環境対応商品の拡充(LCAを用いた商品)				
製品販売比率	(52.1%)	53%	54%	55%
製品構成比率	(75.0%)	76%	77%	78%



環境目的・目標

※達成度は2019年度目標に対するもの

黒文字:100%以上 青文字:90%以上 赤文字:90%未満

環境目的項目（2020年度目標）		2020年度(第70期) 達成度(実績)	コメント
1)廃棄物の減量化			
廃粉体塗料	廃棄量 5%削減(2017年度実績比)	54.6% (8.8g/脚)	来期は社内塗装の比率が増え、増加が見込まれる為、対策を検討する。
一般廃棄物	廃棄量 5%削減(2017年度実績比)	50.9% (42.6g/脚)	
産業廃棄物	廃棄量 5%削減(2017年度実績比)	62.0% (116.0g/脚)	
2)再生資源化率の向上			
上記廃棄物のサーマル及びマテリアルリサイクル化を推進する。	リサイクル率 100%維持	100.0% (100.0%)	全ての廃棄物について、サーマルリサイクル以上の処理ルートが確保でき、ゼロエミッションを達成して、継続している。今後も、引き続き排出量の更なる削減に取り組んでいく。
3)資源の有効利用			
金属屑(鉄＋アルミ)の低減	排出量 2%削減(2017年度実績比)	51.5% (44.7g/脚)	生産数が少ないため原単位が未達となった。



環境目的・目標

※達成度は2019年度目標に対するもの

黒文字:100%以上 青文字:90%以上 赤文字:90%未満

環境目的項目（2020年度目標）		2020年度(第70期) 達成度(実績)	コメント
4)CO2排出量の見える化			
省エネルギー化によるCO2排出量の低減	三惠工業(株)排出量 2%削減(2017年度比)	125.5% (554.4tCO2)	目標を達成している。
	(株)サンケイ排出量 2%削減(2017年度比)	101.6% (12.7tCO2)	目標を達成している。
省エネルギー化による電力使用量の低減	三惠工業(株)使用量 5%削減(2017年度比)	76.4% (1.56kWh/脚)	
5)環境対応商品の拡充(LCAを用いた商品)			
製品販売比率	53%以上	104.6% (56.5%)	目標は達成しているがコロナ禍の中で売れ筋商品の比率が変わってきている。
製品構成比率	77%以上	96.0% (75.0%)	構成比率の評価方法の見直しを検討する。



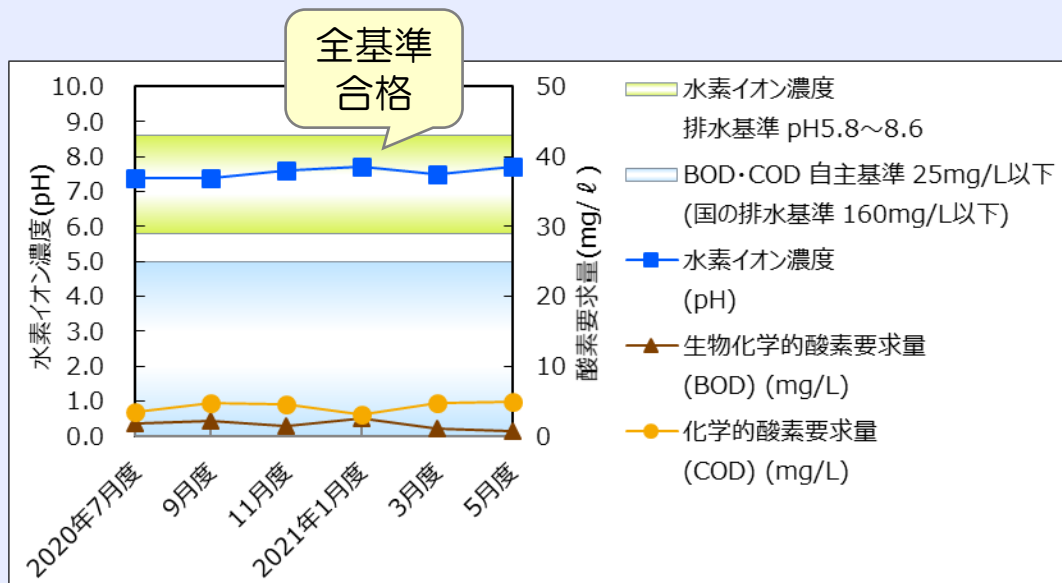
製造段階における環境配慮

製造段階では、材料やエネルギーの無駄のない利用、排気や排水中の汚染物質の低減、発生した廃棄物の再利用などの取り組みを行っています。

排水

弊社で発生する排水は、主に塗装前処理工程から出ており、工場敷地内にある排水処理施設で浄化してから放流しています。放流に際しては、法律制定基準より厳しい、自主基準値を設定して管理しています。

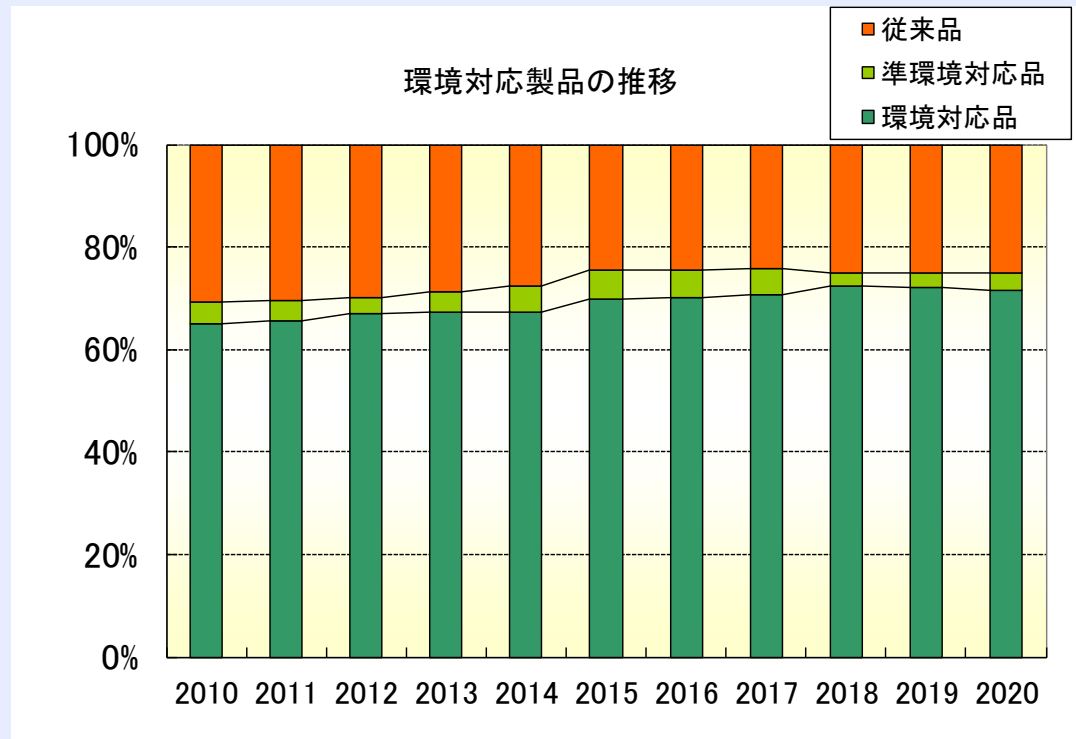
又、定期的な水質評価を実施してチェックを怠らず、水使用量の低減に努めています。



製造段階における環境配慮

環境配慮型製品の比率向上

持続可能な社会の実現に向けて、様々な切り口から環境に配慮した製品を積極的に開発・商品化を図っています。



環境対応品

部品交換の容易な製品

(旧エコマーク分類No.68または、その同等品) かつ、下記の準環境対応品の条件も満たすもの。

準環境対応品

再生材料、再生容易な材料 (PP等) を使用している製品。

各種法規制への対応

有害物質を含む違法な原料を使用せず
各環境基準数値へ対応した製品作りを行っています。



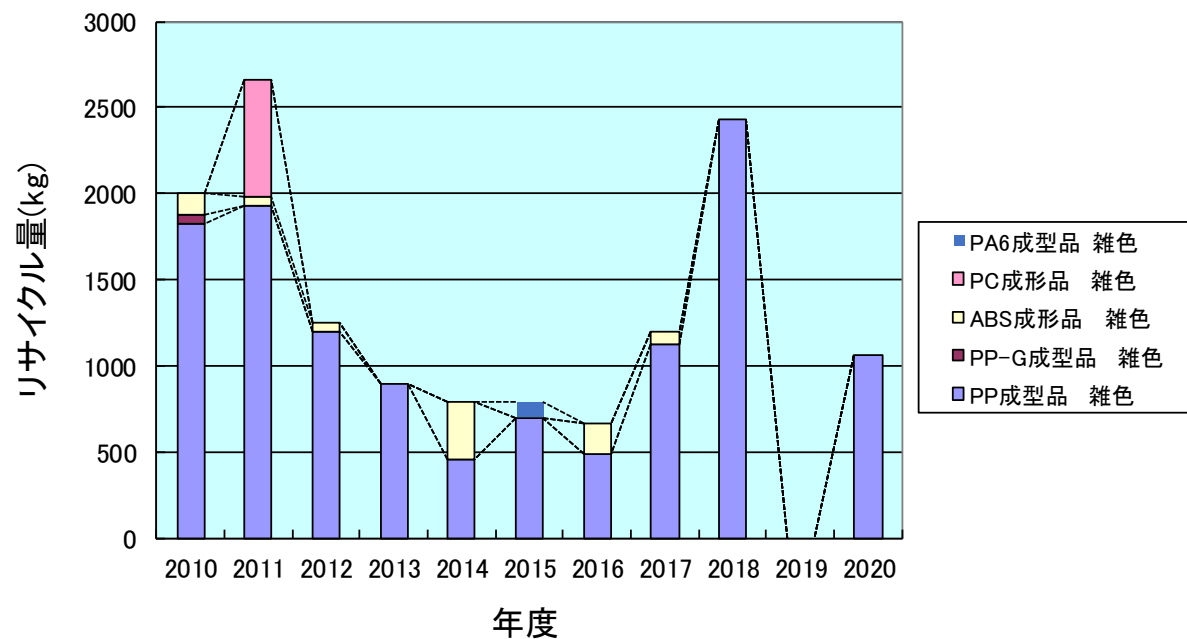
プラスチックリサイクル

不要になったプラスチック製の部品や廃材は、
マテリアルリサイクルをしています。

対象は主にポリプロピレン(PP)、ABSです。

原材料ごとに専用かごを設置し、分別回収を行っています。

プラスチックリサイクル量の推移



廃棄物の適正処理

廃棄物処理法に基づき適正な業者を選定し、廃棄物の最終処分までの流れを把握しており、排出事業者責任を果たしています。
適正な処理とともに廃棄物の再資源化に努力しています。

また、県条例に基づく、処分場の現地確認を、年1回実施して、監視を行っています。



(抜粋) 三重県産業廃棄物の適正な処理の推進に関する条例

第7条 事業者は、産業廃棄物の処分を委託しようとする時は、規則で定めるところにより、委託業者が、当該産業廃棄物を処分する能力を現に有していることを確認するとともに、規則で定める事項を記録する。確認をした日から一年を経過した日以後引き続き、委託する場合も同様とする。

三重県産業廃棄物の適正な処理の推進に関する条例施行規則

第3条 条例7条第一項の規定による確認は、次の各号のいずれかの方法により行うものとし、当該確認した事項の記録は五年間保存するものとする。



一 自ら実地に調査し、確認すること。

二 自らの責任において、実地に調査している者から聴取し、及び確認すること。

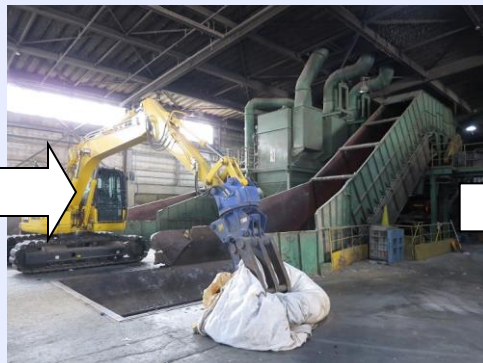
サーマルリサイクル ①

＜現状の処理ルート＞

廃プラスチック→焼却（サーマルリサイクル）



真ん中の箱(コンテナ)



業者で破碎、
選別処理(鈴鹿市)



燃料用として、
圧縮・梱包(鈴鹿市)

北海道・苫小牧へ運搬し、
発電所での燃料として使用
(サーマルリサイクル)



▲ 苫小牧発電所

写真は、(株)サニックスHPから引用



サーマルリサイクル ②

<現状の処理ルート>

廃粉末塗料：焼却（サーマルリサイクル）



廃油：焼却（サーマルリサイクル）→微量の燃えがら（1%未満）を埋立



マテリアルリサイクル ①

＜現状の処理ルート＞

汚泥（塗装前処理水）→社内中間処理（脱水）
→混練造粒→残渣を路盤材に利用（マテリアルリサイクル）



残渣を、
人工骨材・埋め戻し
材として利用

木くず（パレット等）→破碎→パルプ原料などに再利用（マテリアルリサイクル）

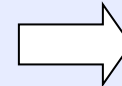
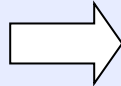


チップを、パルプ原料、ボード、燃料
等に再資源化



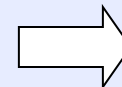
マテリアルリサイクル ②

廃プラスチック混合物（金属を含むもの） → 焼却（サーマルリサイクル） → 燃えがら（マテリアルリサイクル）



焼却処理

焼却により
可燃物は全体量
の5%以下に減
量される



金属類は選別し、有価物として売却

燃えがらは焙焼炉で無害化处理し、
上層路盤材（アスファルト骨材）として利用

熱回収（サーマルリサイクル）



一般廃棄物（事業系）

＜現状の処理ルート＞ 可燃物（一般廃棄物）→焼却（サーマルサイクル）



燃焼を24時間監視

燃焼する際のエネルギーで発電している。

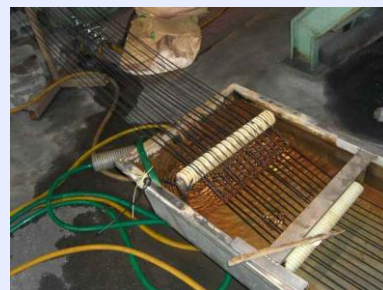


鈴鹿市清掃センター

プラスチックリサイクル

＜現状の処理ルート＞

硬質プラスチック類→粉碎→ペレット化→樹脂原料として再利用（マテリアルサイクル）

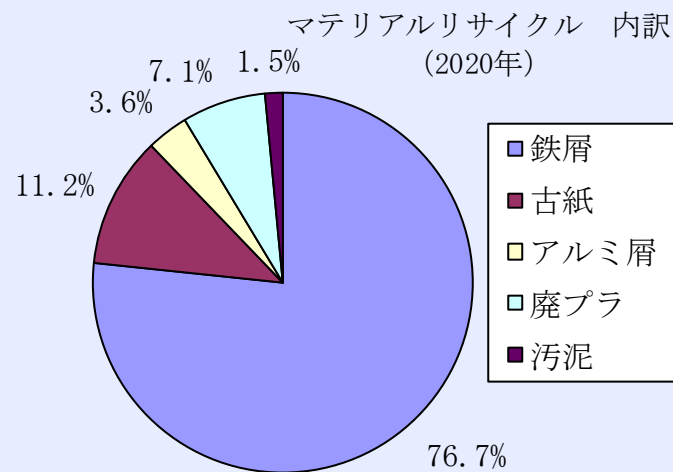
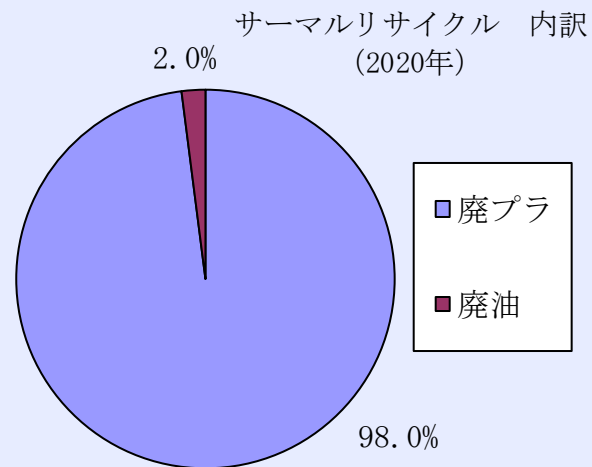
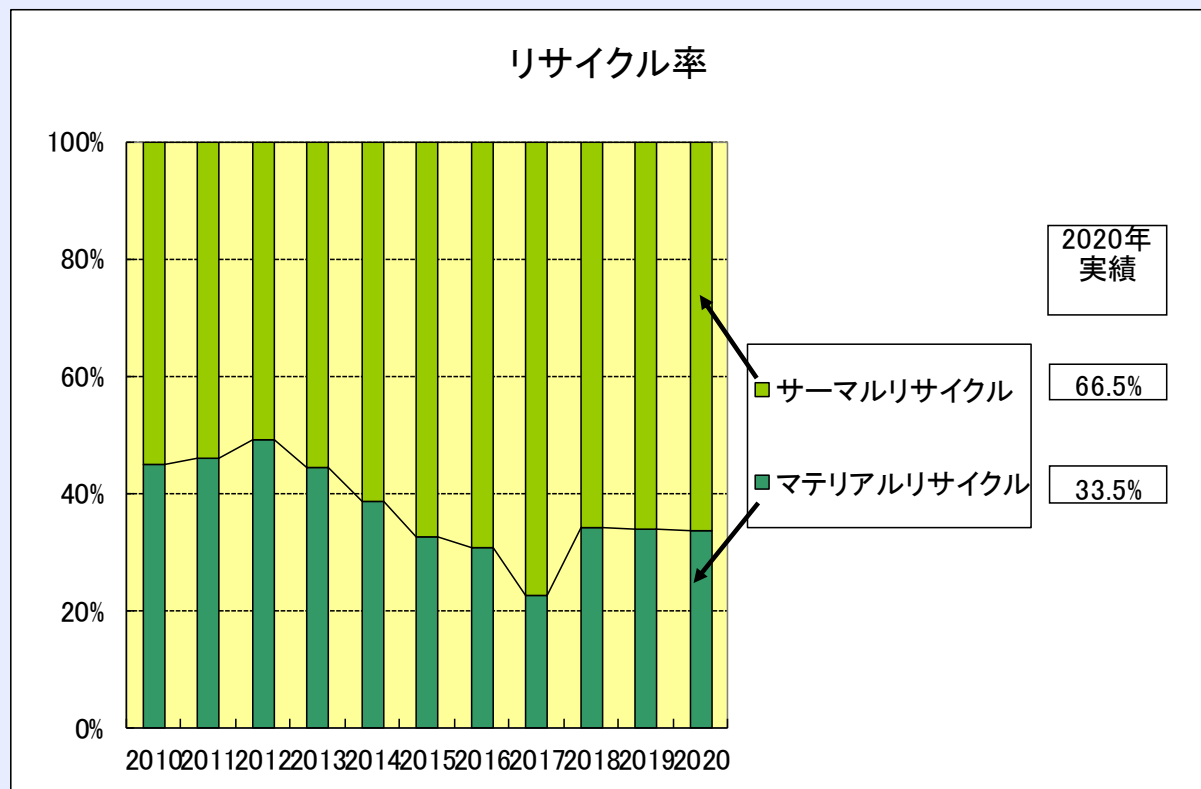


社内で分別を行い、有価で売却



ゼロエミッション

全ての廃棄物について、
サーマルリサイクル、またはマテリアルリサイクルを行い、
ゼロエミッションを達成しています。



教育・社会貢献活動

社会の一員として、地域の皆様との交流や環境との共生・教育活動を行っています。

- 各種フェアや展示会への出展
- 工場見学の受け入れ
- インターンシップ受け入れ
- 外部での講演、事例発表
- 清掃作業
- 災害および緊急事態対応訓練



鈴鹿市ものづくり企業交流会

2021年1月17日 鈴鹿ハンター



教育・社会貢献活動

工場周辺：国道一号線沿線のごみ拾い

2019年5月10日



収集した、ごみ



教育・社会貢献活動



社内 環境教育

2020年9月13日

社内でのサイトレポート発表
(社内QC発表会の場にて)

2019年10月11日



教育・社会貢献活動



防災・減災 当社での消防訓練（避難・消火・救命処置）

2021年5月11日



主な環境法案		サンケイグループ動向		主な環境対応商品	主な環境法案		サンケイグループ動向		主な環境対応商品
1951		・名古屋市中川区に三恵ブレーキ製作所設立			2009	・グリーン購入法改正	・新ブランドHECMEC「HM01」が各賞を受賞	・HM01	
1955		・三恵工業株式会社に商号変更、鋼製家具製造販売を定款に加える				・省エネ法改正	・第3回キッズデザイン賞（商業デザイン部門）を受賞		
1962		・三重県鈴鹿市に工場移転				・地球温暖化対策推進法改正	・2009年度グッドデザイン賞を受賞		
1963		・操業開始					・第6回エコプロダクツ大賞審査員長特別賞（奨励賞）を受賞		
1967		・日本工業規格（JIS）「鋼製事務用イス」表示許可工場となる			2010	・廃棄物処理法改正	・第4回キッズデザイン賞（ユニバーサルセーフティ部門）を受賞		
1968	・大気汚染防止法				2011		・三恵工業(株)が意匠活用優良企業として特許庁長官表彰を受賞	・CM375/376	
1972		・株式会社サンケイを設立			2012		・三恵工業(株)が第1回みえ環境大賞(環境経営部門)を受賞		
1983		・名古屋通商産業局長賞を受賞			2013			・CM104/105	
1991	・リサイクル法	・株式会社ギャルドを設立			2015		・粉体塗装ライン改装工事完了 	・CM550/397	
1993	・環境基本法	・MY DEAR GLOBEを提唱。（親愛なる私たちの地球）						・SCF07	
1995	・容器包装リサイクル法				2016	・グリーン購入法一部変更（オフィス家具判断基準）	・株式会社ギャルドを株式会社ギャルドサンケイに社名変更。 		
1996			・CM01/04 		2017		・石薬師工場完成	・CF80 ・CM100	
1997	・新エネルギー利用等促進に関する法律	・粉体塗装工場完成 			2018	・グリーン購入法一部変更	・ISO9001/14001マニュアル2015年版へ移行		
1998	・地球温暖化対策の推進に関する法律	・リーコサンケイ（タイランド）設立 	・CM02/SCF64		2019			・CW01KK-MX 	
1999		・三恵工業(株)が国際品質保証規格ISO9001認証取得。	・CM10/11		2020		・品質マネジメントシステムISO9001を認証取得（株式会社サンケイ・株式会社ギャルドサンケイ）		
2000	・グリーン購入法	・三恵工業(株)・(株)サンケイ・(株)ギャルドが国際環境	・CM320/321				・三恵工業株式会社が経済産業省による「地域未来牽引企業」に選定		
	・循環型社会形成推進基本法	マネジメントシステム規格ISO14001認証取得	・CL233/234 ・SCF65 				・三恵工業株式会社が中小企業庁（経済産業省外局）による「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定		
	・PRTR法								
2001	・資源有効利用促進法 ・自動車Nox・PM法				2021	・地球温暖化対策推進法改正		・CF11 ・CM199 ・CM352 ・CM500 ・CM96 ・RC163	
2002	・RoHS指令（EU）		・CM108/109 			・省エネルギー法改正			
2003	・学校環境衛生基準改訂 ・建築基準法改訂 ・環境保全・環境教育推進基本法 ・個人情報保護法	・鈴鹿市ごみ減量推進事業所に認定				・グリーン購入法一部改正			
2004	・学校環境衛生基準改訂		・CM399 						
2005	・大気汚染防止法改正(VOC)								
2006	・グリーン購入法改正（原本伐採合法）	・鈴鹿市ごみ減量推進事業所表彰							
	・省エネ法改正（荷主・運送）								
	・地球温暖化対策推進法改正								
	・廃棄物処理法施行令改正								
2007	・消費生活用製品安全法改正	・新JISマーク表示認証取得「オフィス用イス」 ・LCA日本フォーラム奨励賞受賞	・CF67 						
2008	・グリーン購入法一部変更								

会社概要

三恵工業株式会社
〒513-0017
三重県鈴鹿市上野町字助町48番地
TEL 059-378-1243(代)
FAX 059-378-3718

三恵工業株式会社 石薬師工場
〒513-0023
三重県鈴鹿市河田町字丸山1215番地
TEL / FAX 059-374-1120

株式会社サンケイ
〒513-0017
三重県鈴鹿市上野町字助町48番地
TEL 059-378-0465(代)
FAX 059-378-3719

株式会社ギャルドサンケイ
〒513-0017
三重県鈴鹿市上野町字助町48番地
TEL 059-378-1298
FAX 059-378-3612

